

2016 megumi に乗ってびわ湖の中をのぞいてみよう!! (Ⅱ)

2016年度の環境学習船 megumi による小学生親子環境学習の第2回目は8月25日(木)に開催されました。保護者16名、児童19名が参加しました。直前に都合が悪くなってキャンセルされた親子が多数いらっしゃったことは残念でした。今回は、水中ロボットの操作見学とソーラーボート作成がテーマです。参加者と講師、スタッフ等関係者が乗り組んで9時45分に大津港を出航しました。

オリエンテーションの後、立命館大学の熊谷先生(びわ湖トラスト理事)から先生が出演されたテレビの映像も含め、琵琶湖についていろいろ教えていただきました。また先ごろ調査に行かれた北極圏の湖の話も紹介され、みんな興味深そうに聞いていました。

熊谷先生のお話がすむと今度は東海大学の坂上先生から水中ロボットについてのお話を聞かせてもらいました。水中ロボットに必要とされることや水中ロボットの種類を教えてくださいました。お話を聞いているうちに船は北湖で停船し、いよいよ水中ロボット操作の見学が始まりました。立命館大学の学生さんが運転操作をします。



水中ロボットを50~60mの湖底に潜らせてその様子をモニター画面へ送る予定でしたが、光ケーブルが不調で出来ませんでした。先生は上右のような湖底の映像(以前に撮影されたもの)を子供たちに見せてあげられなかったことをとても残念がっておられました。

その代わりに、児童に水中ロボットの操縦を体験させてもらえることになり、数人の児童が学生さんに操縦の補助をしてもらいながら水中ロボットを操作してみました。保護者の方たちもその様子を興味をもって見ておられました。



次のプログラムはお待ちかねのソーラーボートの制作です。子供さん一人一人全員に作ってもらいました。空のペットボトルにソーラーパネル、モーター、スクリューなどを取り付けるだけの簡単なものですが、保護者に手伝ってもらったりスタッフの人に教えてもらいながら組み立てました。



完成した子供からちょうど日光が射してきたデッキに出てスクリューが回るか確かめました。全員のソーラーボートのスクリューが回転し皆うれしそうでした。



午前の部を終え、昼食を取ながら船は沖島へ向かいました。途中、沖の白石や多景島の近くを通りました。



沖島の説明を聞いているうちに島の小学校前の桟橋に到着、上陸して漁港の中心部までの往復1時間の自由散策を楽しみました。



沖島散策を終えて大津港への帰途に着きました。船内で熊谷先生から「ミクロの生態系」というビデオを見せてもらいびわ湖の多様なプランクトンについて学びました。

ビデオ終了後、琵琶湖クイズなどをして楽しむうちに15時50分大津港に帰着、下船していつものように集合写真を撮りました。



その後、急いで近くの噴水池でソーラーボートの試験運行を試みましたが、それまで顔を出していた太陽が雲に隠れ、スクリューを回転させるのに十分な出力が得られず、ソーラーボートは前進しませんでした。子供たちは残念そうでしたが、家で再チャレンジすることにして帰途に着きました。



最後に本行事を共催、助成頂いた公益財団法人平和堂財団に厚く御礼申し上げます。

(藤田理事 記)